

NPO 法人頸城野郷土資料室
2024 年度学術研究概要報告

研究者氏名 石塚正英

研 究 課 題	研 究 進 捗 状 況	発 表 状 況
【くびき文化に関する研究】	郷土の歴史と文化の調査・研究	・エステラ・フィンチ高田で救命伝道に目覚める、上越タイムス 2024.2.19. ・猿供養寺の人柱伝説—スケープゴート、くびき野カレッジ天地びと(第 28 期第 1 講)2024.03.09. ・市川信次遺稿「高田瞽女について」(1985 年)を読む、ますや de お話会 (50 回)、2024.5.11. ・琴平神社社名塔の逆さ文字、ますや de お話会 (55 回) 2024.10.12.
【くびき文化に関係しない研究】	量子力学に関する社会哲学的研究	・量子世界は半自然世界 (メソフィジカル・パース) である、NPO 法人頸城野郷土資料室学術研究部研究紀要、ディスカッションペーパー、Vol.9/No.11 2024.06.06. ・学問論を軽んじる量子力学—古代原子論とマルクス原子論を参考に、NPO 法人頸城野郷土資料室学術研究部研究紀要、ディスカッションペーパー、Vol.9/No.12 2024.07.05.

NPO 法人頸城野郷土資料室
2024 年度学術研究概要報告

研究者氏名 唐澤太輔

研 究 課 題	研 究 進 捗 状 況	発 表 状 況
【くびき文化に関する研究】 ・「裏日本」文化に関する調査研究	東北地方を中心にフィールドワークを実施 〈秋田県〉 上桧木内の紙風船上げ（指定無形民俗文化財）（2 月 10 日）、地蔵田遺跡（4 月 7 日）、入道崎（9 月 1 日）、荒川 鉦山跡（10 月 22 日）、唐松神社（11 月 4 日） 〈青森県内〉 三内丸山遺跡（5 月 4 日）	なし。
【くびき文化に関係しない研究】 ・南方熊楠が粘菌研究から構想した生命論の探求 ・粘菌と現代アートととの接続の模索	1) 粘菌の変形体の原形質流動を中心とした動態の観察、調査 2) アートを通じた粘菌と人間との関係性の研究 南方熊楠による粘菌に関する言説の調査・研究。また野生種の粘菌の採集と観察を通じて、粘菌の生態の研究を行い、現代アートととの接続を試みた。	〈書籍〉 ・【共著】唐澤太輔・石井匠『南方熊楠と岡本太郎 一知の極北を超えて一』以文社（6 月 15 日） 〈発表（講演会・シンポジウム・トーク）〉 ・【講演会】「南方マンダラの真髄へー神社合祀反対運動を交えながらー」一般社団法人 Ecological Memes（3 月 21 日） ・【講演会】『「太陽の塔」和歌山から広がる小宇宙」

		シネマ 203 (5 月 18 日) ・【コメンテーター】辻晶子「南方熊楠と岩田準一の「男色談義」(『クィアの民俗学』収録)について」2024 年度南方熊楠研究会夏期例会 (8 月 2 日) ・【トーク】『南方熊楠と岡本太郎』出版記念関連トーク (8 月 9 日、9 月 8 日他多数) ・【シンポジウム】「粘菌の中の大宇宙—熊楠の言説を背景とした粘菌アートへの展開—」南方熊楠記念館シンポジウム『熊楠・粘菌・そしてアートへ』(9 月 16 日) 〈主な作品・ワークショップ〉(粘菌研究クラブ代表として) ・【作品】「粘菌ねぶた」南方熊楠記念館『南方熊楠と粘菌・アート作品展』(7 月 1 日～9 月 23 日) ・【作品】「もしもしねんきん」南方熊楠記念館『南方熊楠と粘菌・アート作品展』(7 月 1 日～9 月 23 日) ・【ワークショップ】「粘菌アートイベント「ぺたぺた・もによもによ」」南方熊楠記念館『南方熊楠と粘菌・アート作品展』紀南アートウィーク 2024 「いごくたまる、またいごく」連携企画 (9 月 15 日) 〈その他〉 ・【映画紹介】「池田将監督『映像歳時記 鳥居をく
--	--	---

		ぐりぬけて風』志村真幸編著『南方熊楠の生物曼荼羅』三弥井書店 pp.315～317（3月22日） ・【短報】「粘菌アートの射程」『変形菌 THE MXOMYCETES』日本変形菌研究会 pp.55～58（3月30日） ・【短報】「秋田市における粘菌採集観察会について」『変形菌 THE MXOMYCETES』日本変形菌研究会 pp.71～72（3月30日） ・【書評】「生物世界へ深く入り込み、その中から「世界」を見つめ直そうとした南方熊楠」（志村真幸編著『南方熊楠の生物曼荼羅』三弥井書店）図書新聞 p.4（8月17日） ・【展覧会評】「粘菌性」再考」紀南アートウィーク 2024「いごくたまる、またいごく」web サイト https://kinan-art.jp/info/19423/（11月24日）
--	--	--

NPO 法人頸城野郷土資料室
2024 年度学術研究概要報告

研究者氏名 黒木 朋興

研 究 課 題	研 究 進 捗 状 況	発 表 状 況
【くびき文化に関する研究】	特になし	特になし
【くびき文化に関係しない研究】	埼玉県秩父地方の札所と石仏に関するフィールドワーク	〔著作〕 〔論文〕「ヨーロッパ前衛ロックの女性表象、リリース、マグダラのマリアとサロメ・クリス・カトラー『ドメスティック・ストーリー』を巡って」,

NPO 法人頸城野郷土資料室
2024 年度学術研究概要報告

研究者氏名 古賀 治幸

研 究 課 題	研 究 進 捗 状 況	発 表 状 況
【くびき文化に関係する研究】 くびきの文化関連 ・直江津プロジェクト関係 ・「道・旅・文化交流」関係	1) くびき野カレッジ（資料調査等） ・資料収集（4月5日）：立正大学熊谷図書館、田中啓二文庫（近代地図資料） ・資料収集（5月12日）：上越市直江津図書館（直江津市街図等） 2) 直江津プロジェクト東京支部会合（8月24日）：『直江津往還』10年と今後の活動の展望	[報告] くびき野カレッジー天地びとー第3講 「直江津往還補説 19ー頸城野町往来：頸城の近代と地図2ー」（5月11日） [報告] くびき野カレッジー天地びとー第2講 「直江津往還補説 20、21ー頸城野町往来：頸城の近代と地図3、4ー」（9月14日） [報告] 越後頸城野往還ー頸城野における近代：様々な道的なものと街の変化」（10月22日）
【くびき文化に関係しない研究】 歴史学関連 ・近現代史関係 ・ロシア、ソ連史関係	・日本西洋史学会参加（東京外語大学） ・近現代史研究会開催（立正大学） ・ロシア史研究会大会参加（東京大学）	

NPO 法人頸城野郷土資料室
2024 年度学術研究概要報告

研究者氏名 真野俊和

研 究 課 題	研 究 進 捗 状 況	発 表 状 況
【くびき文化に関する研究】		くびき野カレッジ 4 月 13 日「江戸芸人の見た近世高田」
【くびき文化に関係しない研究】		くびき野カレッジ 11 月 9 日「室町期における宗教の風流(ふりゆう)化と寺社参詣」

NPO 法人頸城野郷土資料室
2024 年度学術研究概要報告

研究者氏名 米田 祐介

研 究 課 題	研 究 進 捗 状 況	発 表 状 況
【くびき文化に関する研究】 太宰治の佐渡 —「単一表現」と回帰する〈海〉の記憶—	・本研究は、中期太宰の「佐渡」読解を通じて新たな太宰像を模索せんとするものである。一作年、「太宰治の佐渡（１）——〈いきさつ〉から旧制新潟高校での講演を中心に」（2022 年 5 月 11 日）と題して〈佐渡〉前夜の報告を行い、昨年は「ノート：太宰治の佐渡（１）——寄留、海と『単一表現』」（2023 年 10 月 17 日）と題し続く構想を報告した。引き続き、中期に特徴的な「単一表現」のうちに「佐渡」がいかに描かれているのかということを太宰の〈生〉において回帰する〈海〉の記憶というコンテキストのうちに位置づけることを目的とする。	
【くびき文化に関係しない研究】 反出生主義と現代	・我々は苦痛の不在を「奪われ」てこの地上に否応なく投げ出される。圧倒的に規格外に〈外部〉である“はじまり”そのものを問う南アフリカの哲学者デイヴィッド・ベネターは言う。「存在してしまうことは常に害悪である」と。生に一滴の痛みもあつてはならないと。我々は「生まれてこない方が良かった」のか。本研究は、ベネターのこの主張にそれでも人生にイエスという方途を探るとともに、旧来注目されてこなかった彼の「奪われ」ることへのセンシビリティを可能性として掘り出したい。それは、この生産性の時代に風穴をあける対抗メッセージでもありうるのだ。	【著書】「生産性という時代、優生思想という課題——フクシマとサガミハラが投げかけるもの」、「奪ってはいけない——デイヴィッド・ベネターの反出生主義に向き合う」（第 12・13 章担当）朝倉輝一編『なぜ生命倫理なのか——生と死をめぐる現代社会の見取図』（大学教育出版、2024 年 4 月） 【報告】「エーリッヒ・フロムとケアの思想」関東医学哲学・倫理学会（於）お茶の水女子大学、zoom 併用のハイブリッド開催、2024 年 12 月 7 日

NPO 法人頸城野郷土資料室
2024 年度学術研究概要報告

研究者氏名 山田 彩加

研 究 課 題	研 究 進 捗 状 況	発 表 状 況
【くびき文化に関する研究】 なし		
【くびき文化に関係しない研究】 (文化にとって)「当事者」とは誰か	文化を継ぐ人や団体の意志を，支援者を含めた外部は汲みとることができるのか，また，取材の協力者 interviewee を尊重できているのかを意識・反省する。	くびき野カレッジ天地びと 第 28 期 第 4 講 「当事者とは誰か 曖昧にしがちなことを意識する」(2024 年 6 月 8 日)

NPO 法人頸城野郷土資料室
2024 年度学術研究概要報告

研究者氏名 湯本 泰隆

研 究 課 題	研 究 進 捗 状 況	発 表 状 況
【くびき文化に関する研究】 特になし		
【くびき文化に関係しない研究】 生成 AI の可能性 ローカル怪談の可能性	イベント企画	生成 AI に関する講座を企画 AI アートの展示会 企画 怪談イベントの企画